

2019年 年頭によせて

安平町長

及川 秀一郎



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、平素から町政全般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年4月の安平町長選挙を経て、新しい町づくりに取り組もうとスタートを切った矢先に、9月6日に発生いたしました平成30年北海道胆振東部地震により、多くの町民の方が被災されました。

不幸にして幸いにも、この安平町からは亡くなられた方はいなかったものの、9割以上の住宅が損壊し、断水・停電の発生など大きな被害が出ました。また、長い間、避難

所生活を余儀なくされた方もありますが、自治会や町内会等のご協力、全国各地からの救援物資とたくさんの方のボランティアの方達にご支援を賜りましたことに関し、あらためて感謝と敬意を表する次第です。

そして、震災直後から北海道内の市町村職員の方々、新潟県、岩手県、宮城県などの職員の方々が安平町のために駆け付けていただきました。大きな災害経験のない安平町に対して、災害経験をされた方達の多くの助言や支援をいただいたことに、勇気づけられ、元気な町にしていくことが何よりの報いであると認識をしているところでございます。

全国各地から多くの義援金も頂戴いたしました。これまでに安平町でも町民の皆様に対するいろいろな支援策を検討し、義援金配分額を決定させていただきました。全国の皆様が安平町の復興を願い、応援していただいていることを念頭にリーダーシップを発揮して参りたいと考えているところでございます。

復興に向けて、震災に負けない新しい安平町を町民皆様とともに着実に進めていきたいと考えているところではございますが、行政だけではなく町民皆様が一体となつて、災害に強い町づくり、未来に向けてのまちづくりに取り組むことにご理解とご協力をお願いいたします。

その他、安平町の昨年を振り返りますと、中央競馬の数々のG1レースで多くの安平町産駒が優勝するなど歓喜の輪が広がりました。馬産地としても知名度が上がっていることに今後の活躍をご期待しているところでございます。

懸案事項の一つでもありませんJR室蘭線について、安平町といたしましても町民の足として多くの方が利用しているものであり、胆振・日高・空知の各関係機関と連携を取りながら取り組んで参りたいと考えております。昨年から町職員により、月1回ではありますが「ノーマイカーデー」を実施し、JR利用促進に少しでもつなげていきたいと考えているところ

でございます。町民の皆様にも是非、ご利用をいただき官民一体となつて必要性・重要性を訴えていきたいと存じます。

本年4月にオープン予定となつております「道の駅あびらD51ステーション」につきましても、昨年の震災の影響も少なからずございましたが、なんとか大きな変更もなく進めております。

町民の皆様はもちろんのこと、多くの町外からのお客様に「道の駅」にお越しをいただき、生まれ変わろうとしている安平町の良さを実感していただけるものと願っております。

災害復興に向け課題も山積しているところではございますが、新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた幸運多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。